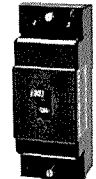
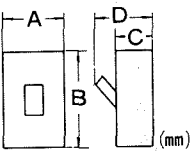


極数(P)・素子数(E)・フレーム(A)				2P,1E,30A	2P,2E,30A	2P,2E,30A	2P,2E,30A	
相 線 式				1φ2W	1φ3W	1φ2W,3φ3W	1φ2W	
定 格 電 圧 (V)		A C		110	110 / 220	250	250	
		D C		100	100	100	100	
定 格 電 流 (A)		配 線 保 護 用		6, 10, 15, 20, 30	6, 10, 15, 20, 30	10, 15, 20, 30	10, 15, 20, 30	
		モ ー タ 保 護 用						
型 式				J B - K	J B - 32 K	J B - 32 P	J B - 32 H	
詳 細 説 明 ペ ー ジ				22	23	24, 25	26	
▶外観写真は、器種ごとの寸法の大小は考慮しておりません。								
				NK認定品			NK認定・ロイド登録	
定 格 しゃ断 電 流 (A)	A C	J E M	110V	1,500		5,000 (125V)	5,000 (125V)	
			J I S	220V		1,500 (110/220V)	2,500 (250V)	2,500 (250V)
		460V						
		600V						
	D C	J E M	125V	300 (100V)	300 (100V)	700(100V)	700 (100V)	
			J I S	240V				
				A	35	35	45	45
				B	97	97	117	117
C	46			46	46	46		
D	63.3			63.3	63.5	63.5		
基 準 温 度 (℃)				25	25	45	45	
端 子 構 造				ソルダーレス端子方式	ソルダーレス端子方式	プラグイン方式	圧着端子方式	
端 子 カ バ ー				○	○		○	
受 注 仕 様	接 続 方 式	裏 面 形						
		埋 込 形						
	付 属 装 置	補 助 ス イ ッ チ						
		警 報 ス イ ッ チ						
		電 圧 引 外 装 置						
		不 足 電 圧 引 外 装 置						
	ハ ン ド ル	ハ ン ド ル キ ャ ッ プ 式						
		ロ ッ ク 装 置 施 錠 式						
	外 部 操 作 ハ ン ド ル							
接 続 可 能 最 大 電 線 (mm ²)				8	8		22	
引 外 し 方 式				熱 動	熱 動	熱 動 電 磁	熱 動 電 磁	
型 式 認 可 番 号				▽取得済	▽取得済	▽取得済	▽取得済	
重 量 (kg)				0.13	0.14	0.25	0.25	
一 梱 入 数				50	50	50	50	
定 価 (円)				6A, 10A, 30A	6A, 10A, 30A	2,350	2,100	
				870	1,220			
				15A, 20A	15A, 20A			
				830	1,160			

〔注〕①●印は受注品(納期2週間)です。②110/220V表示は、単相3線式回路での200V使用を示します。

③表示の定格電圧は、最大電圧を示します。④D・C回路にご使用の場合は、使用方法、回路条件により選定にご注意願います。

2P・2E・30AF

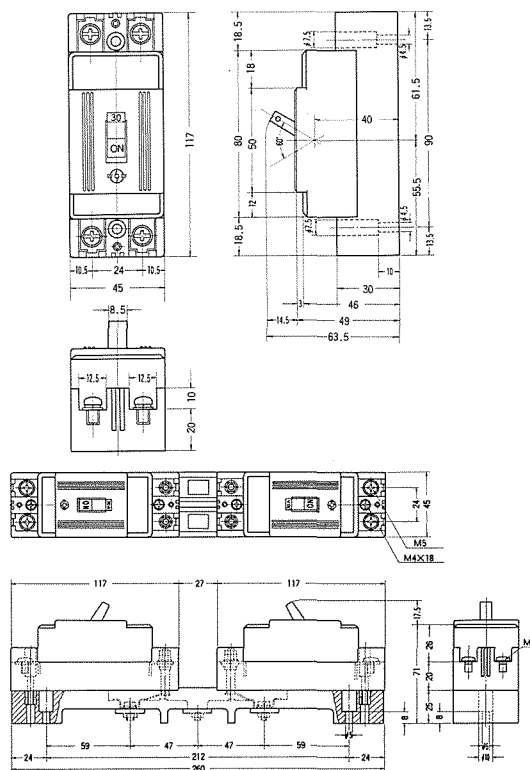
JB-32P

NK認定品

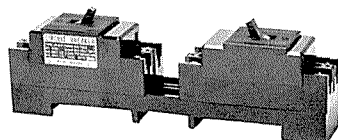


動作特性はJB-32Hを参照してください。

型 式				J B — 32 P	
極数(P)・素子数(E)・フレーム(A)				2 P ・ 2 E ・ 30 A	
相 線 式				1φ2W・3φ3W	
基 準 温 度 (℃)				45	
定	電 圧 (V)		AC	250	
			DC	100	
格	電 流 (A)			10, 15, 20, 30	
	しゃ断 電 流 (A)	JEM	AC	125V	5,000
				250V	2,500
		JIS	DC	100V	700
端 子 構 造				プラグイン方式	
重 量 (kg)				0.25	
型 式 認 可 番 号				▽取得済	
定 価 (円)				2,350	



JB-32P取付台組立図



●ご使用上の注意

接触板をブスバーに取り付ける時は、次のことを厳守願います。

- ①ブスバーにタップ加工する場合のブスバーの厚みは、必ず2mm以上のものをご使用ください。
- ②ナット締めの時、必ずバネ座金を使用して、締め付けの完全を期してください。(締め付けトルク20kg-cm)
- ③接触板の取り付け穴は5.5φですから、ブスバーへの穴明寸法は5.5φ以下にし、ボルトは、必ずM5の黄銅ネジを使用してください。ボルト径が小さすぎたり、穴明寸法が大きすぎたりすると、接触板がずれて接触不良の原因になります。
- ④接触板(C)をお使いの場合は、必ず絶縁板をお取り付けください。(図B参照)

●JB-32P 付属品

取 付 台 (JB-32P型) (2台取付用)		
接 触 板 A		R(L ₁)相またはT(L ₂)相より片方への分岐用
接 触 板 B		S(N)相より両側への分岐用
接 触 板 C		R(L ₁)相またはT(L ₂)相より両側への分岐用
絶 縁 板	接触板(C)を使用の場合は、必ず絶縁板をご使用ください。	

●JB-32P・取付台・付属品組立図



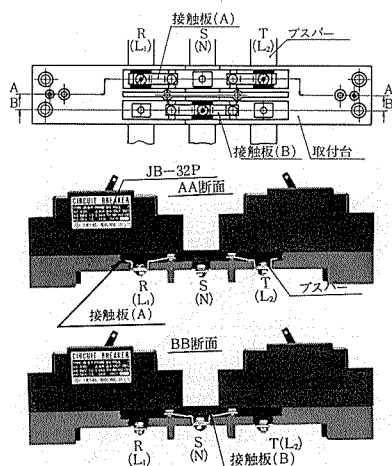
	$L_1 - N$ $N - L_2$	$R - S$ $S - T$
単相3線式	100V	
三相3線式		200V

〈図・A〉標準分岐

R(L₁)相・T(L₂)相とS(N)相から分岐を取る場合。

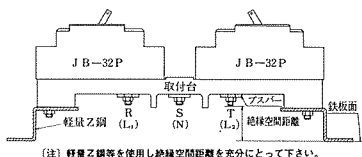
- ① 接触板(A)をR(L₁)相とT(L₂)相に取り付けます。
- ② 接触板(B)をS(N)相に取り付けます。
- ③ JB-32P電源側底面のプラグ接点と接触板(A)、(B)の接点に確実に接触するように取付台に取り付けます。

図 A



〔注〕〈図・A〉の接触板(A)と接触板(B)を使用して分岐方法を標準としますが、〈図・B〉のように接触板(C)を応用しての分岐方法もあります。

JB-32Pを組み込んだ取付台を鉄板等に取り付ける時は下図の取り付け方法を参照ください。

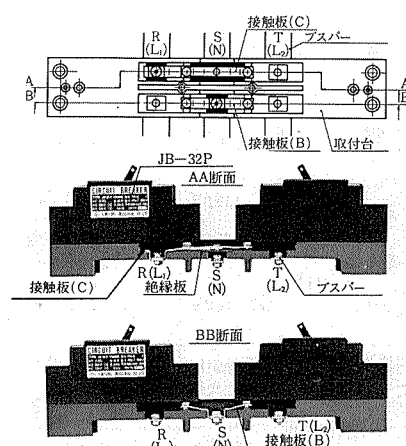


〔注〕軽量鋼等を使用し絶縁空間距離を充分にとってください。

〈図・B〉接触板(C)使用による分岐

〈図・A〉の分岐方法が標準ですが、接触板(C)を応用使用して分岐する方法が〈図・B〉です。接触板(C)をご使用の場合には、必ずS(N)相取り出し口の上部に絶縁板を敷いてください。

図 B



▶ 〈図・B〉のように接触板(C)をご使用の場合は、必ず付属の絶縁板を取り付けてください。

	$L_1 - L_2$	$R - T$
単相3線式	200V	
三相3線式		200V

R(L₁)相とT(L₂)相から分岐を取る場合

- ① 接触板(C)をR(L₁)相とT(L₂)相に取り付けます。
- ② 絶縁板をS又はN相取り出し口の上部に敷きます。
- ③ JB-32P電源側底面のプラグ接点と接触板(C)の接点に確実に接触するように取付台に取り付けます。

